

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

丸子中心市街地地区

令和7年12月

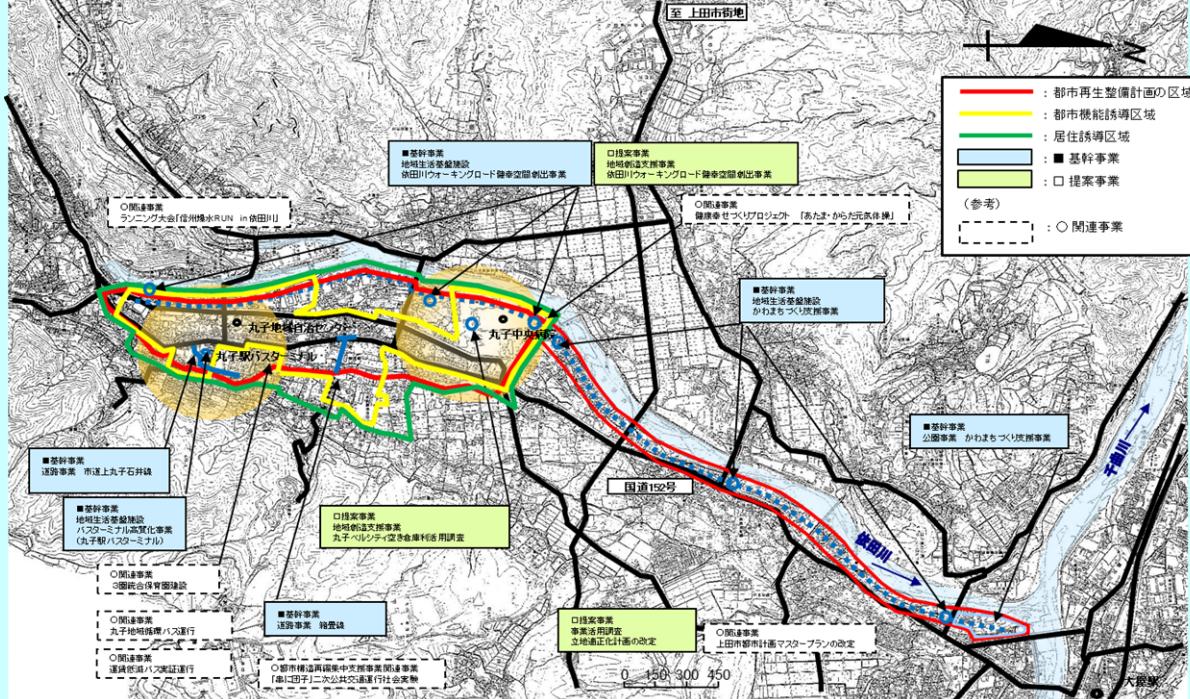
長野県上田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	上田市	地区名	丸子中心市街地地区			面積	130ha								
交付期間	令和2年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	885	国費率	0.46										
		事業名															
		当初計画に位置づけ、実施した事業 基幹事業	市道上丸子石井線 市道箱置線 公園 (仮称)丸子かわまち公園 地域生活基盤施設 バスター・ミナル(丸子駅・バスター・ミナル、丸子ベルシティ) 地域生活基盤施設 依田川ウォーキングロード 地域生活基盤施設 かわまちづくり支援事業(依田川地区)														
			地域創造支援事業 丸子ベルシティ空き倉庫利活用調査 地域創造支援事業 依田川ウォーキングロード健幸空間創出事業														
事業名																	
削除/追加の理由																	
削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																	
1)事業の実施状況	当初計画から削除した事業 基幹事業	地域生活基盤施設 バスター・ミナル(バスター・ミナル・丸子ベルシティ)のうち「丸子ベルシティ」のみ削除							影響なし								
		提案事業 なし															
	新たに追加した事業 基幹事業	なし															
		提案事業 ・事業活用調査 立地適正化計画の改定							影響なし								
	交付期間の変更 当 初	平成30年度～平成34年度(令和4年度)		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし											
		令和2年度～令和5年度															
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値 基準年度	目標値 目標年度		数 値 モニタリング	目 标 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)								
	指標1	依田川ウォーキングロードのウォーキング者数	人/日	191	平成29年度	217	令和5年度	○	あり なし								
	指標2	丸子駅を利用する路線バスの利用者数	人/年	450,086	平成29年度	405,077	令和5年度	△	あり なし ●								
	指標3								あり なし								
	指標4								あり なし								
	指標5								あり なし								
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値 基準年度	目標値 目標年度		数 値 モニタリング	目 标 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)								
	その他の数値指標1																
	その他の数値指標2																
	その他の数値指標3																
4)定性的な効果 発現状況	(仮称)かわまち公園内でのイベント開催に関する問い合わせの増加や、地元自治会のまちづくりに対する機運が向上している。																
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況		今後の対応方針等									
	モニタリング		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	官民連携による取組		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	持続的なまちづくり体制の構築		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

丸子中心市街地地区(長野県上田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
市街地拠点の充実とそれをつなぐネットワークの強化により「賑わいのある丸子市街地」の再生を図る ①公共・公益施設や商業施設の集積を活かした、賑わいのある市街地拠点の創出 ②二次公共交通の充実やまち歩き空間の形成による拠点間ネットワークの強化 ③ウォーキング、サイクリングなどを通じた健康増進に向けた環境づくり	依田川ウォーキングロードのウォーキング者数 単位:人/日 丸子駅を利用する路線バスの利用者数 単位:人/年 単位: 単位: 単位:	191 H29 450,086 H29 H H H	217 405,077 R R R	R5 R5 R R R	389 355,868 R R R	R7 R6 R R R
						
						
まちの課題の変化	・道路整備や公共施設等の集積により、賑わいのある市街地拠点の創出及び利便性の向上が図られた。 ・公園整備及びウォーキングロードの案内板設置等による環境づくりにより、健康増進に対する意識の向上が図られた。					
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・整備した公園について、現在は地元自治会に管理をお願いしているが、今後トライアルサウンディングの実施やパークPFIの導入を検討し、民間事業者の能力を活用しながらさらなる賑わい創出のため効果的な活用方法を模索する。 ・道路整備により一定の交通環境整備が図られたが、一部区間の整備であるため、引き続き整備を進めていく必要がある。 ・公共交通を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、常に変化しているため、その動向を見据えつつ、利用者のニーズに対応したサービス水準の最適化を検討し、維持・確保に向けた対策を図る必要がある。また、併せて商店街等の事業者とも連携を図り、市街地拠点の充実とネットワークの強化を促進することで、引き続き「賑わいのある丸子市街地」の再生を推進したい。					